

研究課題別中間評価結果

1. 研究課題名： 自己組織化分子システムの創出と生体機能の化学翻訳

2. 研究代表者名： 藤田 誠（東京大学大学院工学系研究科 教授）

3. 研究概要

生体系の精密な自己組織化の仕組みを人工的に取り入れ、精密設計された小分子がナノ領域で自己組織化し、生体分子に匹敵する自己組織化分子システムを創製し、その機能性を実証するものである。

本研究は、化学分野の論文引用度を含め世界的に最高の評価を得たものであり、わが国が世界に誇る成果である。

4. 中間評価結果

4 - 1. 研究の進捗状況と今後の見込み

収率 100%のデザインされた巨大分子創製技術により、提案内容をはるかに超えた、さまざまな興味ある物質、機能、現象が見出されており、合成化学の醍醐味を誇る結果であり、評価委員全体が高い評価を与えた。

本研究代表者とともに質量分析グループが参加し、研究代表者の研究の質を高めている。

4 - 2. 今後の研究のあり方

本研究で創製された巨大分子系がさらに有用な応用がなされることを、他グループとの積極的な連携などでなされるべきである。

4 - 3. 総合評価

現段階で最高であることが評価委員一同の結論である。